

# 明徳の街

10

平成19年9月3日



## 地域の「宝」

校長 大関 政子

9月です。頭を垂れた稲穂の上を涼風が吹き渡っていきます。記録的な猛暑となったこの夏でしたが、子ども達は大きな事故もなく、元気で登校してきました。何より有難く嬉しいことです。ご家庭や地域の方々の目配り気配りに感謝いたします。

今日から2学期、私たちも夏休み中に練り直した戦略をもって子どもの知・徳・体の向上を目指します。1年中で一番学び易い2学期、みんなが目標をもち、期待感に胸をふくらませてスタートできるよう指導していきます。

ところで、この夏、私は地域の「宝」をまた一つ発見しました。

それは8月13日の夜の事です。向中条で盆踊りがたつと言うので出かけてみました。夜8時に到着。広場には、提灯を万国旗のように連ねて明かりが灯されています。真ん中に櫓が組み、法被姿の若い衆？がいい声で盆踊り歌を歌っていました。誰かと見ると、その人は保護者のNさんではありませんか！笛、太鼓のお囃子は、3年生から中学生の子どもたちです。地域の方々が「向中条盆踊り保存会」を作って指導している「子供太鼓」の面々です。どの子も嬉し気できらきらした目をしています。中学生は大人顔負けのばちさばきでそのカッコイイこと！「保存会」のお父さんが目を細めて自慢します。

「あれは、TとAだよ。太鼓うまくなったもんだ。」

櫓の周りの踊りの輪には老若男女が入り乱れ、笑顔がいっぱいです。あんまり楽しげなので、私も踊りの輪に入れてもらいました。中にドジョウすくいや一つ目小僧、ツキノワグマ、蛸の八ちゃん、チャイナドレスの男子中学生も踊っています。仮装をしているのです。聞けば、子どもたちは何日も前から仮装を考え、準備も自分ですということ。お目当ては仮装部門への入賞です。「保存会」では、仮装や踊る時間の長さやお楽しみくじなど、みんなが楽しめるように新しい工夫をしているということです。

休憩になりました。囃子や踊り手には勿論、見物人にまで飲み物が振る舞われます。すると、子どもたちが空き箱をもって人々の間を周り始めました

「空き缶は、この箱に入れてくださあい！」

この盆踊りには、子どもの出番がいろいろと用意されていました。子どもたちは、地域の方々から笛や太鼓が上手だとほめられ、仮装のアイデアに「ほお、よく考えたものだ」と感嘆され、「早い時間から最後までよく踊った」と気力体力を認められ、空き缶回収では「よく気が付いた」と感謝されていました。やって見せ、言って聞かせて、出番を与えてさせてみせ、誉めて育てるという山本五十六ばりの教育力が、地域に生きていました。こうした地域の教育力が、中川地区の子どもの素直さや努力して学ぼうとする心を育てていたのでしょう。地域に盆踊りのような文化があることは、今時の子どもにとっては大きな幸運です。向中条盆踊りは地域の宝そのものでした。これからも灯を消すことなく、時に新しさを加えながら、誇りをもって守ってほしい文化だと思います。



# 「Q-U」の結果 学級生活満足群増加

個人の意欲や適応度、一人一人の学級満足度、個人と集団の関係、学級全体の様子を調べる「Q-U」を、1学期後半に実施しました。結果を箇条書きにすると、次の通りです。

学級生活意欲尺度(やる気のあるクラス)では、昨年度の「全体的に高意欲だが、著しく意欲の低い児童がいる型」に対し「全体的に高意欲で分散が小さい型」と言える。

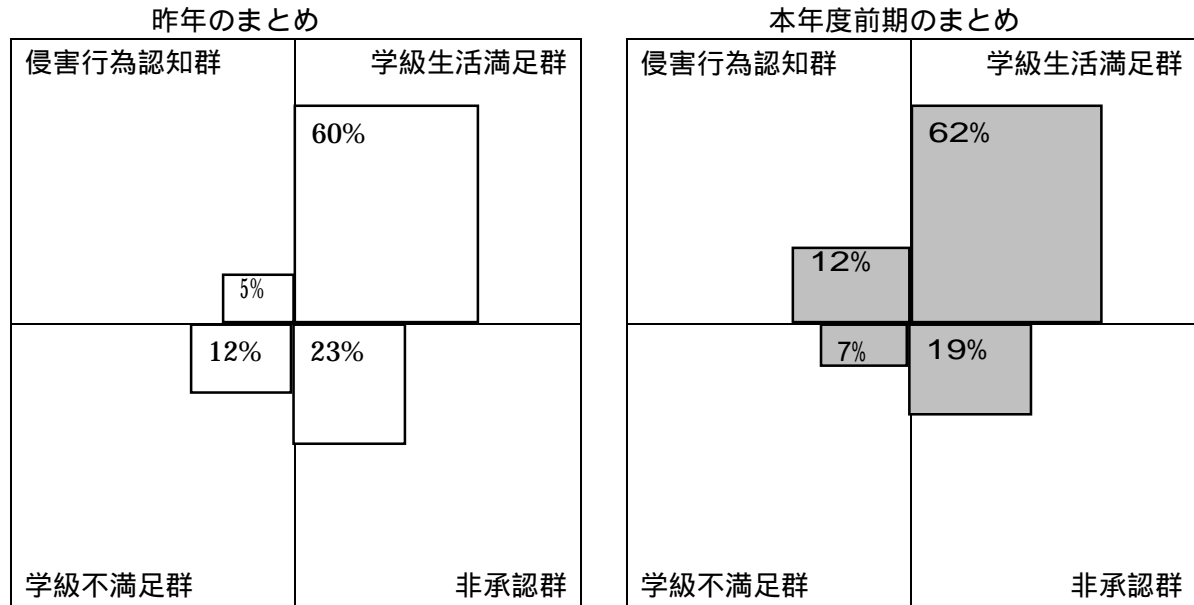
「低意欲児童」が21%から12%に減り19.5以下の児童も0になった。凝集性が高く、中意欲児童が増えている。

学級満足度尺度(いごちのよいクラス)では、全校としては昨年と同じ「学級生活満足群・優位型」になる。すべての学級で「学級生活満足群」が全国出現率より高い。

全校の6割が学級生活に満足している。「学級生活満足群」は昨年度の60%から2%増えて62%。心育成の成果目標評価はAとなる。

昨年度は「非承認群」がやや多かったが、本年度は「侵害行為認知群」がやや増えている。

本年度は「いじめや悪ふざけを受けているか、他の児童とトラブルがある児童、自己中心的な面があり友達の心情に配慮していない児童が増えている」と考えられる。児童間のトラブルの事実確認と、両者の言い分や感情を交流させ他人の気持ちを考える視点を育成する指導が必要となる。



個々の児童の結果については、1学期末の個別懇談会で担任から話があったかもしれませんが、この結果を受けて、各学級とも2学期の方策を立てています。詳しく知りたい方は、担任までお問い合わせください。また、この結果と対応した児童の自己評価も、次号の「学校評価特集号」に載っています。合わせて、ご覧ください。

## 「全県学力調査」県教委のまとめ

昨年度、1月に実施した「全県学力調査」。このほど県教育委員会がまとめのパンフレットを作成しました。意識調査から、次のような報告がされています。

- 「授業が分かる」と答えた児童は学力も高く、「学校や勉強も好き」と答えている。
- 小学校では、「授業中に自分の意見を進んで発表している」児童ほど学力が高い。
- 信頼できる先生がいたり、学校での出来事を家族と話したりする児童ほど、学習に意欲的に取り組んでいる。

この便りと一緒に、県教委からの保護者用資料を配布しました。枠囲みの中にご注目ください。当校が取り組んでいる内容と一致しますね。

ストップ・ザ・いじめ

～やめよういじめ 許さないじめ～

いじめ根絶にいがた県民会議



## 学期末の風景

1学期末、こんな風景が見られました。家族での会話はありましたか？



靴箱清掃。1学期の汚れ落とし。

チャレ計優秀賞、表彰。

水泳大会激励会。がんばります！

初めて通知表をもらう1年生

## 最後の加治川地区水泳大会

「最後の～」が続きます。何とか雨に降られずに実施できました。6位以内入賞 24名。リレーは2種目とも2位。一番小規模の中川小学校ですが、結果は立派でした。



本番前の練習。みんな飛び込み！



選手宣誓、6年、和輝さん。



応援も一番にぎやかな中川小学校。



## 早朝除草作業 閉校看板も完成！

8月5日(日)6:00から全校で校地内の草取り作業がありました。ご協力、ありがとうございました。式典部の皆さんで準備した閉校記念看板の前で、記念写真も撮りました。



## 閉校記念事業の募金、目標達成

保護者・地域の皆様にご協力いただいている「閉校記念事業」。募金活動が終了し、目標額の340万円を超えることができました。ありがとうございました。

8月8日には、この募金額をもとにした事業の予算案・計画の見直しを閉校記念事業実行委員役員会で検討しました。「思い出を語る会」の会場は中川地区館でよいか、記念碑はどのようなものにするか、閉校式等の参加希望をどのように確認するか等が話し合われました。記念誌のゲラ刷りもでき、「これなら是非欲しい」という声も聞かれました。この便りと同時に、「閉校式・思い出を語る会への参加について」という申込書が回覧されます。多数の申込をお待ちしております。

暑さを選けてメディアルームで行われた役員会



# 閉校看板作成・取り付け ありがとうございます

もうご覧いただいたでしょうか。県道沿い、校門横のフェンスに取り付けられた閉校記念の看板を。全体のデザインは、学校医である喜多野昭様に考えていただきました。字は中川小学校の6年生が書いた毛筆を拡大したものです。

また、学校玄関の柱にも立派な木製看板が取り付けられました。どちらも「ありがとう中川小学校」という文言です。「さようなら」だけでなく、感謝の気持ちこめた内容です。

作成・取り付けには、次の方々にボランティアでご協力いただきました。

|       |    |    |   |
|-------|----|----|---|
| 看板提供  | 織田 | 信男 | 様 |
| 看板塗装  | 碓井 | 清永 | 様 |
| 看板取付  | 中野 | 康平 | 様 |
| 玄関縦看板 | 前田 | 雅人 | 様 |

ありがとうございました。



## 夏休み中もがんばる子ども達



8月23日から、3・4年生の音楽交歓会発表練習が始まっています。初めて校歌が演奏できる中学年になれます。28日は6年生が競技場で陸上大会練習をしました。

## 9月の主な行事紹介

- 9月 3日(月) 2学期始業式...月曜スタート。気力を高めておきましょう。
- 4日(火) 給食開始・発育測定(1・2年。その後順次3~6年)
- 6日(木) 小教研学力調査...4~6年生で実施。最も難しいPISA型(読解力に焦点を当てた)学力テストです。 チャレンジ計算...2学期の新たなスタートです。
- 12日(水) 1日授業参観...てくてく発表会・祖父母参観・教育振興会役員会など盛りだくさん。
- 17日(月) 敬老の日...3連休。生活リズムを崩さないようにしたいです。
- 19日(水) 発表朝会...4年生の発表。見に来てください。
- 20日(木) チャレンジスピーチ...これも参観されるとおもしろいですよ。8:10~8:25各教室にて。
- 21日(金) 2年生3小交流活動...1年生以外、全学年で交流活動を行います。
- 23日(日) 秋分の日...24日(月)が振替休日で3連休。
- 28日(金) 全校遠足...レッツゴーグループで大天城公園まで歩きます。